

新潟アートディレクターズクラブから 運営体制の変更のお知らせ

- ・運営体制の変更に関して
- ・体制変更の経緯と運営体制のイメージ
- ・2025年度 運営業務の内容と分担（予定）

新潟アートディレクターズクラブ
2024年度・運営委員会

運営体制の変更に関して

この度、新潟ADCにおける運営体制の一部変更を決定したことをお知らせします。昨年13日、新潟ADCにおける運営体制の課題を話し合うため、歴代の会長と運営委員長、運営関係者をお呼びし、相談会を開催。その後、現会長と現運営委員会による協議、相談会出席者との検討を経て、運営体制の役割の明確化と体制の一部変更を決定しました。

相談会で話し合ったのは、運営委員の業務が年々増加し、未経験者や新会員の割合が増えたことにより、運営業務の進行が困難になっていたことについてです。定款によると、運営委員の業務はクラブを代表し、業務の決定と統括を行うことです。しかし近年は、広報や制作、年鑑販売、賛助関連の営業など、決定や統括以外の実務作業が増え、決定と統括に関わる業務の時間を確保することが困難になっていました。その結果として、運営委員にはボランティアとして対応できる以上の大きな負担を強いているという現状があります。

この問題を解決するため、改めて運営体制の役割を見直し、運営委員会は〈代表・協議・支援組織〉として再定義し、決定と統括に関わる業務を中心としました。また運営事業の実務を担う〈実行組織〉として、「運営スタッフ」を新設します。従来の「審査会スタッフ」と「年鑑制作スタッフ」は、「運営スタッフ」と同じ〈実行組織〉という位置づけとなります。定款では、新潟ADCの会員はクラブ事業に関して何らかの役割に従事する義務がある、とされているように、クラブ事業における主体は会員の皆さまです。新設する「運営スタッフ」は会員の方々から募集し、運営事業にご参加いただきたいと考えています。未経験者の増加という問題については、今後は一定数の経験者にご参加いただけるように、運営委員の編成時には、従来の立候補と勧誘に加え、推薦を募るなどの対応をします。一方で、経験者に負担が集中しないように、未経験者や新会員の方々も随時勧誘し、会員全体でクラブ事業を担っていける体制と関係づくりを心がけていきます。

これらの変更により、運営委員の業務負担をできるだけ減らし、毎年の課題である運営委員の引き継ぎをいくらかでも円滑に進められたらと考えています。運営事業の業務整理も、並行して進める予定です。運営事業全体の負担を軽減し、会員の皆さまと協力して運営事業を進めることで、年度に応じて、展示会やトークイベント、勉強会や相談会などを開催できるような柔軟な体制を築き、クラブ事業に参加される方たちの主体的な活動を支えることができたらと考えています。

改めてになりますが、新潟ADCは会員の皆さまのご参加とご協力によって成り立つ団体です。これからの新潟のクリエイティブを盛り上げていくためにも、皆さまのご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

2024年12月9日

新潟ADC運営委員長 伊藤一善

体制変更の経緯と運営体制のイメージ

■体制変更の経緯

11月13日 運営体制の見直しなどに関する相談会

出席者：石川竜太、迫一成、吉川賢一郎、西村隆行、関谷恵理奈、横山英也、高橋洋貴、山下洋平、高橋栄一、亀山春花、角田正之、木村博一、伊藤一善、中澤洋大、今成佳奈子、甲野光、加藤啓吾、村井孝昭、齋藤拓実、上野有理、今井翼、山田遥太

11月21日 運営体制の変更に関する協議会

出席者：木村博一、伊藤一善、中澤洋大、今成佳奈子、甲野光、加藤啓吾、村井孝昭、齋藤拓実、上野有理、今井翼、山田遥太

■運営体制のイメージ

別資料「運営体制の変更図」をご確認ください。

2025 年度・運營業務の内容と分担（予定）

■運営委員会

運營業務の〈代表・協議・支援組織〉。各種スタッフ（実行組織）の統括・進行管理。

会員からの立候補・推薦・勧誘により編成。

会長1名、運営委員10名以内（委員長1名・副委員長2名含む）、運営委員サポートで構成。

会長、運営委員の任期は2年。運営委員は任期後、運営委員サポートを1年担当。

会長 ————— 運營業務に関する最終決定者・最終責任者。

運営委員長 ———— 運營業務に関する実行責任者。年度事業の方針・計画の作成。
運営委員会の統括。審査会・総会・運営会議・スタッフ会議の開催。

運営副委員長 —— 運營業務の進行管理。運営チーム担当の統括。会計。
審査会・総会・運営会議・スタッフ会議の準備。

運営委員 ————— 運営チームの担当・計画・進行管理。

運営委員サポート — 運営委員会のサポート。運營業務の引き継ぎ。

■各種スタッフ

運營業務の〈実行組織〉。会員・非会員からの立候補・推薦・勧誘により編成。

運営スタッフ ———— 通年の運營業務の実行。各種運営チームで構成。任期1年。10名前後。

審査会スタッフ —— 審査会の準備・実行。審査会前に編成。50名前後。

年鑑制作スタッフ —— 年鑑の制作。制作前に編成。10名前後。

臨時スタッフ ———— 展示会スタッフ、トークイベントスタッフなど。

■運営チーム

運営委員会と連携して事業ごとに分かれて活動する〈実行組織〉。

イベントチーム —— 審査会・総会などの準備・開催。審査会スタッフの編成・統括。
進行資料の制作。

交流チーム ————— 各種パーティー・交流会などの準備・開催。審査員・来賓の対応。
進行資料の制作。

広報チーム ————— HP・SNSの配信。プレスリリースの配信。運営メールの対応。
アンケート募集・集計。Web管理との連携。

制作チーム ————— 審査会の各種ツールの制作。広報配信のビジュアル制作。
年鑑制作スタッフの編成・統括。ADとの連携。

営業チーム ————— 年鑑の管理・配布・販売。賛助会員と賛助広告の営業・管理。
後援依頼。